

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

you serizawa

■ 著作権について

「初対面から幼顔の女の子を落としてみる」（以下「本レポート」と表記）は著作権法で保護されている著作物です。

本レポートの使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

本マニュアルの著作権はすべて、著者：芹沢 悠に属します。

著作権者の事前許可を得ずに、本レポートの一部または全部を、あらゆるデータ蓄積手段（印刷物、ビデオ、テープレコーダー、及び電子メディア、インターネット等）により複製および転載することを禁じます。

■ 免責事項

本レポートは、タイトルや文面を約束するものではありません。

本レポートの使用に際しましては、個々の判断にて行って下さい。

万一本レポートによる損害等が発生しても、著者：芹沢 悠はその一切に責任を負うものではありません。

どうやって、初対面から落としたのか？

どうも、芹沢です。

このレポートは、僕のブログにて好評だった、

「初対面から幼顔の女の子を落としてみる」をPDFにまとめたものになります。

実際のメールのやり取りを掲載しながら、

生々しいやり取りをこのPDFで知ることができます。

どうやって、初対面からこの女性を落とすことができたのか？

どういった接し方で、この女性と仲良くなっていったのか？

かなり、リアルに知ることができます。

ブログを見てもらっていいんですけど、

いつでもPDFで見られるようにこのような形でまとめました。

では、僕がどんな感じでこの女性を落としていったのか、

じっくりと読み進めてみてください。

(ちなみに各見出しにある日付はブログアップ日ですのであしからず)

#1 (1月14日)

どうも、芹沢です。

ついにアップします(笑)

おととい、ある仲間たちと合コンのようなものをしまして、
そこで知り合ったある女性をこれから落としたいと思います。

名前はサキちゃん。

事務をしている一般的なOLです。

20台半ばぐらいなんですけど、
顔は結構幼い感じで明るく、カワイイ感じの子です^^

で、合コンは初めの打ち解け方が結構肝心なんですが、
こんな感じで仲良くなっていきました。

サキ「あの、お仕事って何やってるんですか？」

僕「さあ(笑)なにやってると思います？」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

サキ「えー？分かんないですよぉ！（笑）教えてください！」

僕「そっちが答えたら教えますよ（笑）」

サキ「ホントですか～？普通の事務ですよ」

僕「へー、すごい！事務って大変じゃないっすか？
結構細かい数字見たりとか？」

サキ「そーなんですよ！でも、細かい数字とかニガテで…
元々大ざっぱな性格だから結構しんどくて…」

僕「ああ、なんか確かに大ざっぱそう（笑）」

サキ「えー？もう、ムカツク（笑）」

僕「血液型絶対O型でしょ？」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

サキ「違うの、A型なんです…」

僕「うそっ！もう一回血液型確かめてもらった方がいいよ（笑）
なんか絶対O型だもん」

サキ「そんなに大ざっぱじゃないよ～！」

僕「いや、絶対大ざっぱだって（笑）」

はじめはお互い敬語でよそよそしい感じでしたが、
僕がサキちゃんをからかうことによってどんどん
打ち解けていきました。

結構からかうのって大切なんですよね。
特に手っ取り早く打ち解けるためには。

で、その後会社のグチになって、それをひたすら聞いて、
「大変だね、自分がいないと絶対仕事回らないと思うよ」
みたいにホメてあげたりしました。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

向こうも、

「ありがと、なんかここ来て励まされると思わなかった（笑）」と、
まあ感触はオツケーなのかなという感じです。

からかって、打ち解けた上で親身になって話を聞く。
これが芹沢の勝利の方程式っす。

これで見かみはオツケー。

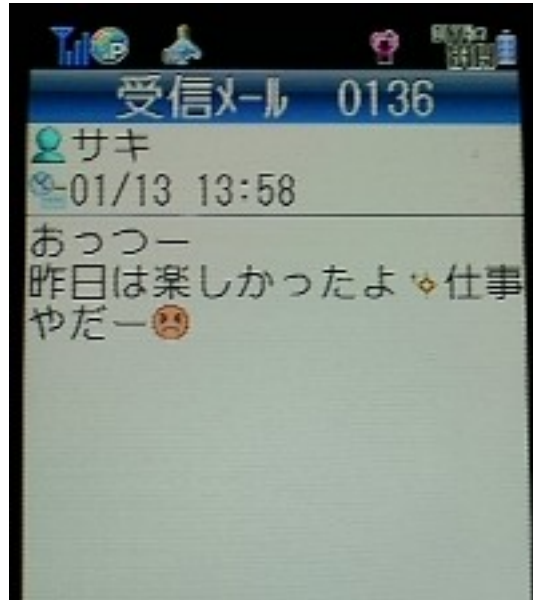
そして今日の朝になって、「おはよ、昨日は楽しかったよ！」的な
軽いメールを送っておきました。

すると、

(次のページ)

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる



時間的に昼休憩のヒマな時に送ってきたんでしょうね。
あっさりしたメールです。

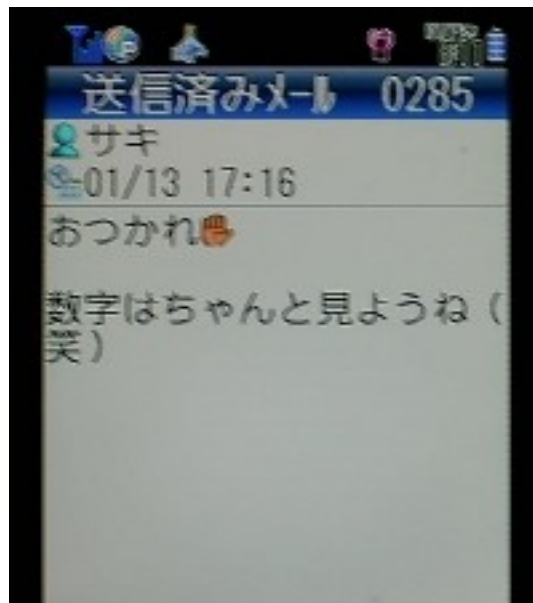
まあ、はじめはこんなもんなのかなという感じです。
まだまだ友達感覚のメールっすね。

で、僕はこう返しました。

(次のページ)

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる



ちょっとからかい半分の感じで（笑）

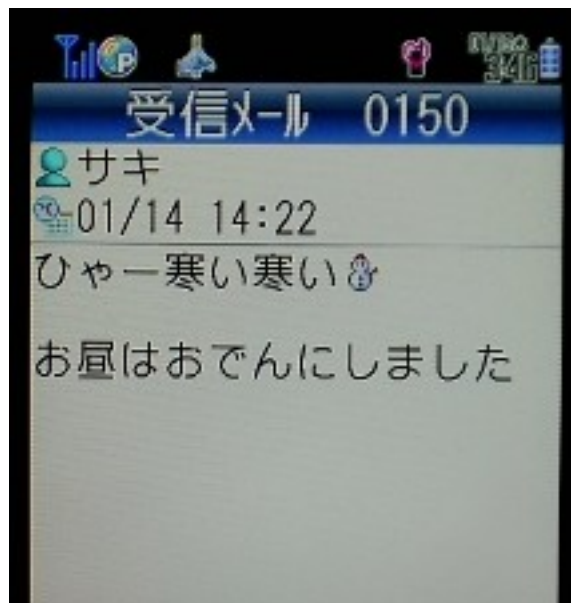
このあっさりしたメールが、
これから先僕を慕ってやまないラブラブなメールに
変化していくのを考えると今からがとても楽しみです^^

さあ、どうなることやら…

#2(1月15日)

今日はちょっと意地悪をしてみました。

こういうメールが来ていたのですが…



今日はまったく返信しないでおきました。

おでんなんて知るかよといった感じで（笑）

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

実は、こうやって放ったらかすのは結構大切。

ちょっと心配しているかもしれません。

「あれ？メール来なかったな…」みたいな感じで。

大体僕は知り合って結構話し込んだりメールしまくった後、
2～3日後ぐらいに一旦こんな感じで連絡を取らないように
しています。

狙った女性を落としたいのであれば、
メールばっかせずにこんな感じで放ったらかしにすることも大切。

そして、惹き付けていくんです。

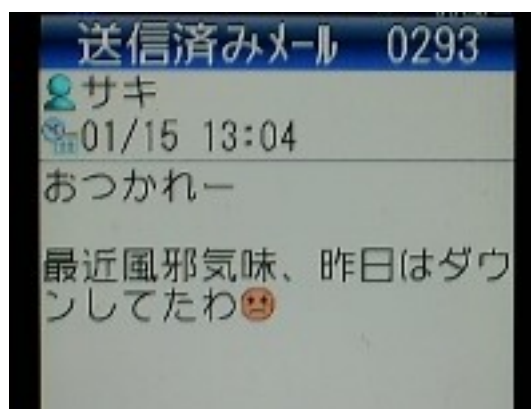
明日（ていうかもう今日）ぐらいにメールを打ってみて、
相手の様子を伺おうかなと思います。

僕の策がハマれば、かなり今日の行動は
大きな進展になるんですがね…

#3(1月16日)

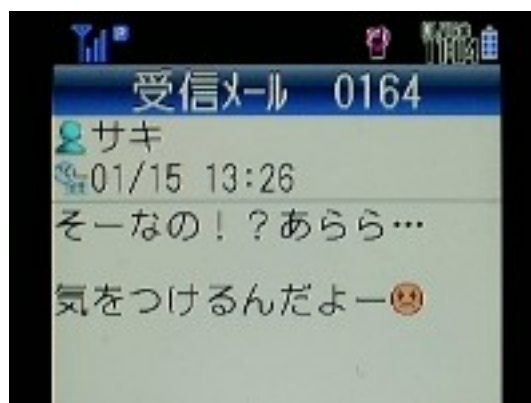
昨日返信してないのでこんな感じでメール再開です。

で、ついでなんで早々とこの子を誘ってみたいと思います。



まあ、返信しなかったことをカゼ引いてたことにしました（笑）

すると…



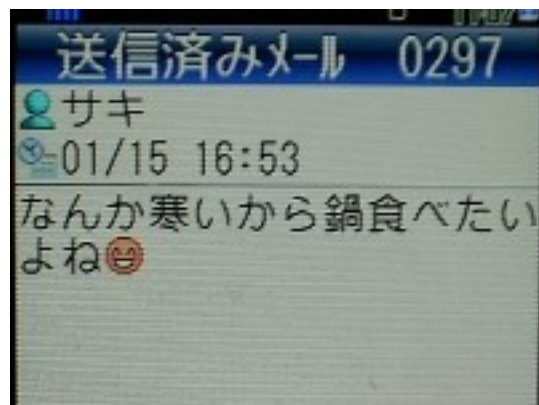
Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

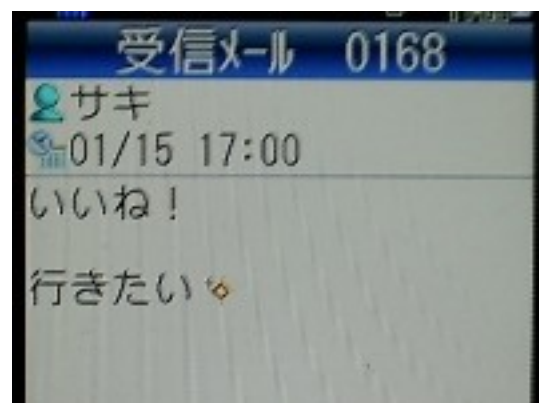
まあ、こんな感じでメールしてくれました^^

なので、この流れを使って

こんな感じで誘う方向へメールしていきます。



そして...

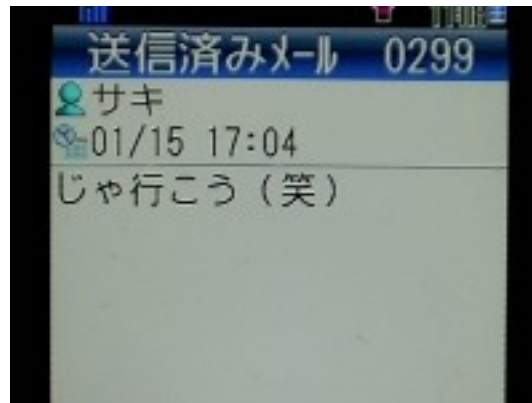


おっ、好感触（笑）

Real Time Series 01

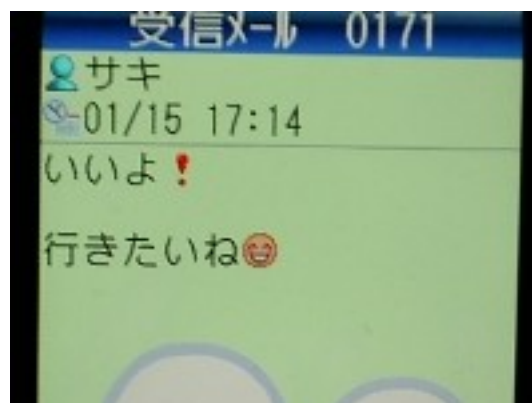
初対面から幼顔の女の子を落としてみる

だから、すかさず僕はこうメールを返し、
この子を誘ってみました。



さあ、この子は僕の誘いに応じてくれるのか…

そして…



おっ、成功です！

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

このように、自然な流れで女性を誘うのはとても大切。

流れとしては、

「カゼ引いた」→「寒いよね」→「じゃあ鍋に」

みたいな感じで、ごく自然に誘うことができました。

自然な流れで誘うことを意識するだけで、
誘える確率はアップします。マジに。

実はこれ以降僕は返信してません（笑）
バタバタしてたもんで…とっとと約束取り付けないと
いけないんですけど。

マジテキトー過ぎです。自重します。

ということで、今日にでも約束とってみたいと思います。

#4(1月17日)

返信してなかったので昨日電話しました。

こんな感じで電話をかけて、
鍋に行く約束を取り付けてみました。

僕「もしもーし、どーも、お久しぶりー」

サキ「お久しぶりー！どうしたの？」

僕「いや、サキちゃんがまた〇〇課長にキレてないか電話してみた（笑）」

サキ「あははっ（笑）今日は出張でいなかったからキレてないよ」

僕「ああ、よかった（笑）あ、でさ、鍋だけどさ…」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

このように、冗談っぽく電話を切り出して、
相手に気軽な感じで受け止めてもらいました。

あ、ちなみに〇〇課長ってというのは、先日の合コンの時に話題になっていた
グチの対象です。（どうも使えない上司らしいっす）

ここでいきなり、

「あ、俺だけ。あの、昨日言った鍋の件だけさ、どうする？」

みたいな感じで話題を切り出す男性は多いのですが、
僕みたいに冗談っぽくワンクッション置いて切り出すことで
相手も僕の誘いを気軽に受け入れてくれて、断られることがなくなります。

何よりもまず、こういったクッションをはさむことで、

「この人と一緒にいるとなんか楽しいことが起きそう」

こう思わせることができます。

「この人と一緒にいると楽しい」と思わせるのは大切です。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

ヘンな洗脳術とか催眠術とか使うより、
純粹に相手を楽しませようとした方がよっぽど成功率はアップしますから。

こんな風に、冗談っぽく気軽に接するということはとても大事です。

そして、僕はこういう風に鍋のことを話して、
サキちゃんをワクワクさせ、約束を取り付けました。

僕「あ、でさ、鍋だけどさ、すごい鍋の店見つけたよ」

サキ「えっ、マジで？」

僕「これ結構ヤバイよ〜？」

サキ「えっ？どんなお店？」

僕「それは秘密（笑）」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

サキ「えーっ、気になるっ！」

さっきも言いましたが、大切なのは

「この人と一緒にいるとなんか楽しいことが起きそう」

これです。

別にお店とかはどーでもいいんです（笑）

こうやって女の子の心を動かしていく。

そして、日曜に鍋に行くことに決まりました！

というワケで、行ってきます^^

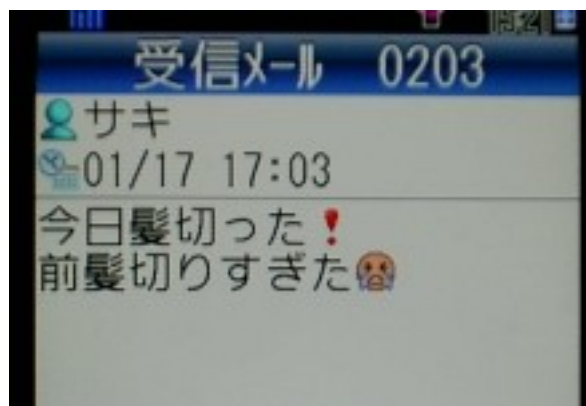
日曜の報告をお楽しみに…

アップは月曜になりそうかな。

#5(1月18日)

なんの変哲もないメールですが、
会えないときはこんなメールをして連絡しつつ、
コミュニケーションをとっていきます。

どうもサキちゃん、髪を切ったようです。

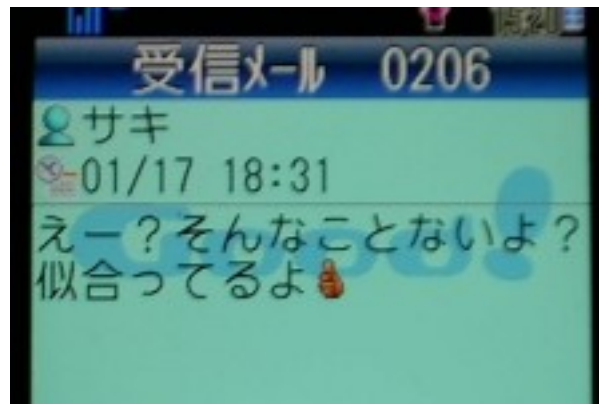


それに対して、
僕はこんなメールを返しました。

(次のページ)

Real Time Series 01

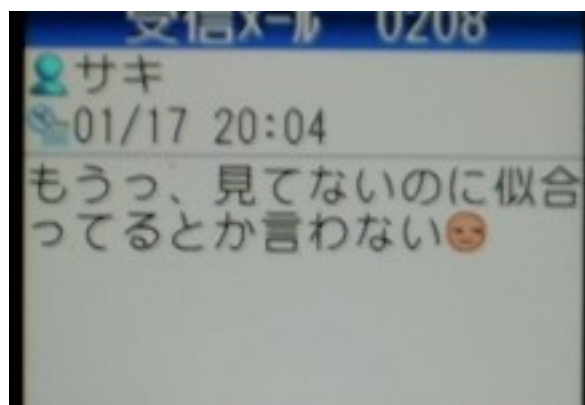
初対面から幼顔の女の子を落としてみる



はい、テキトーなメールです（笑）

でも、このメールに対して

サキちゃんは少し怒ったみたいです（汗）



まあ、実際に会ったらちゃんとホメてあげようと思いますけど（笑）

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

こういうメールが、
相手と続くメールです。

しかも、相手がこんな風に感情を表してくれているということは、
少なからず僕に心を開いている証拠なのです。

基本的に人間ってのは、
心を開いていない相手にこんな風に感情を表さないからですね。

サキちゃんと僕の心の距離は、
確実に縮まっている証拠です。

だから、基本的に僕はメールが途絶えることはありません。

では、今日は鍋へ出陣なので、
結果報告をお楽しみに^^

#6(1月20日)

かなり予想外なことになってしまいました…

日曜に鍋に行ったのですが、
最終的にどうなったかというと…

サキちゃんとキスすることができました^^

しかも向こうから。
これはかなり予想外でした。

じゃあ、どんな流れでそういう雰囲気になったかというと…

はじめはこんな感じで会話をしていました。

僕「ていうか、本当に髪切ったね」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

サキ「前髪ないでしょ…？」

僕「そんなことはないよ、カワイイよ」

サキ「えーっ？本当？」

僕「顔がカワイイ感じだからそれぐらいの前髪の方がいいかも」

サキ「そう？そう言われるとうれしいかも^^」

こういう風に、相手をホメるときには
具体的にホメていくことを心がけています。

単に「髪切ったね、カワイイよ」とホメるんじゃなくて、
こうやって「顔がカワイイ感じだからそれぐらいの前髪の方が
いいかも」と具体的にホメていきます。

こういう風に具体的にホメることによって、
相手をその気にさせることができます。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

「あ、この人、本当に私のことホメてくれてるんだな」
という風にその気にさせ、惹き付けることができます。

そして、こんな感じでからかったりもしました。

僕「何飲む〜？」

サキ「えー？じゃあ、ビール飲む」

僕「ダメだよ、幼い子がビール飲んだら（笑）」

サキ「もうっ、幼くないもん！」

こんな感じで盛り上げつつ、
お酒や料理が来て最近あった話をしたんですが、
そこでまた会社のグチになって真剣にその話を聞きました。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

そこで、僕も自分の仕事上のつらい話や、ムカついてる話をして、サキちゃんの気持ちを懸命に理解しようと思いました。

すると、ある変化が起きました。

サキちゃんが、グチと共に堰を切ったかのようにお酒のペースを早め、グイグイのみ始めたのです。

多分、いろいろたまってるのをグチってるうちにスッキリし出して気持ちよくなって、つい飲むペースを早めたんでしょう。

完全に僕に対して安心してくれています。普通、警戒心をバリバリに持っていたらこんな風にお酒をグイグイ飲まないですから。

よく、女の子を飲ませたくて、「ホラ、飲みなよ」なんて言っている男性は多いんですが、そんなに女の子にお酒を飲ませたいならグチを聞いてあげるだけでどんどん飲んでくれます。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

大切なのはグチに共感して、
どんどん信用してもらうこと。

このように、相手のグチを延々と聞いてあげると、
女の子はグイグイとお酒を飲んでくれます（笑）

そして…

カンペキにサキちゃんができあがりしました。
もうベロンベロンです。

僕はサキちゃんの手を取って、
倒れないように支えながら歩きました。
かなりオイシイ状況です（笑）

サキちゃんも、

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

「こんなに酔ったの初めて…」

とか言って僕にもたれかかってくる。

そして…

サキちゃんの方からキスされてしまいました^^

その後も、何回かサキちゃんとキスしました。

今回僕がやったことと言えば…

まず、ホメたりからかったりして、

サキちゃんが話しやすいムードを作ったこと。

ホメたりからかったりというのが一見

ムダなことのように感じるかもしれませんが…

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

実はこのホメやからかいが大切。

砕けた雰囲気を作り出し、
サキちゃんが話しやすいムードを作り上げることができ、
グチをひたすら聞いてお酒を飲ませる土台を作ったのです。

そして、後はひたすらサキちゃんの話
聞いてあげただけです（笑）

それだけで女の子は安心しきって、
このようにオイシイ状況を作り出すことができるのです。

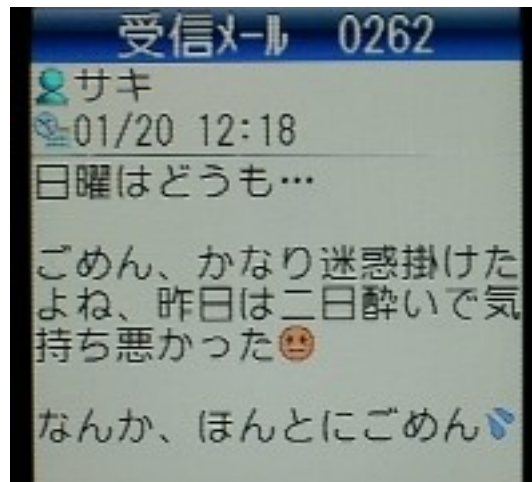
一応「大丈夫？」とはメール打ったんですけど、
昨日は気分が悪かったらしくメールは返ってきませんでした。
（だからアップを今日にずらしたんですが）

そして今日…

こんなメールが来ました。
（次のページ）

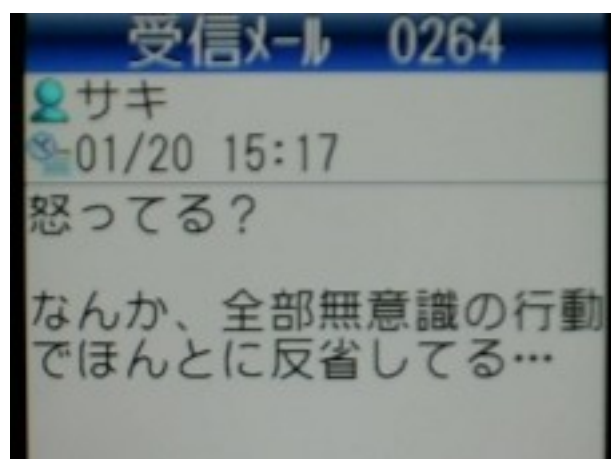
Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる



どうも昨日は気分悪くて返信できなかったみたいですね。
まあ、複雑な気分だったってのもあるんでしょうが…

しばらく放っておいたら…



Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

かなりキテます（笑）

結構僕の方に惹き付けられています。

とりあえずはサキちゃんとキスできましたが…

まだまだ出会って1週間ぐらい。

相手はキスしたとはいえまだ心を開いていないかもしれません。

キスしただけで有頂天になっていたら、

時に痛い目をみることがあります。

これで舞い上がって何度痛い目をみたことか…

念には念を。

ここからさらにサキちゃんの心を固め、

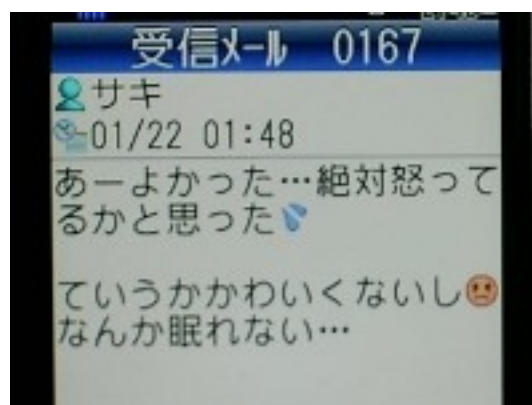
カンペキに落としにかかりたいと思います。

#7(1月23日)

一段落ち着いているので、
ちょっと更新のペースが遅めになってますが
あんまり気にしないで下さい(汗)

この後、1日空けて僕はサキちゃんに
「怒ってないよ、酔っ払ったサキちゃんもカワイイよ」
的なメールを返してあげました。

すると…



「返信きてよかった」というメールが返ってきてますね。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

ここで、サキちゃんの心がモロに動いたことが、
このメールで分かります。

サキちゃんとしては1日も僕からのメールの返信が
来なかったことに対してかなり不安感を抱いているワケです。

でも、僕からのメールが来て、
サキちゃんはかなり安心している。

そこでサキちゃんは、
さらに僕の方へと惹き付けられてしまったんです。

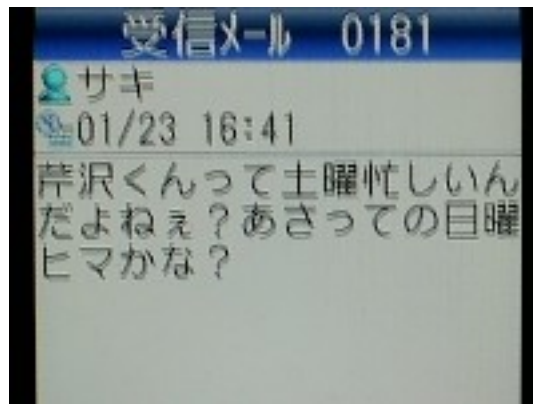
恋愛には、こういったメリハリもとても大切なんです。
数だけメールばっかやり取りしても相手の心はなかなか動きません。

そして今日…

なんとこんなメールが来ました。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる



サキちゃんの方から誘われてしまいました^^

サキちゃんは間違いなく、
かなり僕のことを好きな状態だと思います。

合コンから2人での鍋にかけて、
僕はサキちゃんの気を引き、相手も徐々に僕のことを
好きになってくれました。

普段は気軽な感じで相手に接し、
サキちゃんがグチればそれを真剣に聞いてあげる。

多分、この居心地の良さが、
サキちゃんを惹き付けた大きな要因でしょう。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

しかも、居心地のいい僕がメールを返信しなかったり
したことで、サキちゃんの心はかき乱され、僕に対する
感情はどんどん強まっていったんじゃないかと思われま

気軽に接する時は接して、
真剣に接する時は真剣に接する。

このメリハリが大切ですね。

というわけで、また日曜も行ってきます（笑）

#8(1月30日)

さて、日曜にサキちゃんと飲みに行きました。

なんか、始終サキちゃんをからかって、
そしてサキちゃんの会社のグチで盛り上がった
ような感じでした（笑）

で、こんなちよいエロな会話もできました。

サキ「芹沢くんってさ、胸板意外と厚いよね？」

僕「うん、誰かさんと違ってね（笑）」

サキ「はいはい、どーせ胸ないですよーだ！」

僕「あ、でも俺、結構貧乳好きだよ？（笑）」

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

サキ「えー！でも私のなさすぎ…」

僕「おっ、余計そそるね（笑）じゃ、後でチェックするよ？（笑）」

サキ「もーっ、オヤジっ！ヘンタイ！」

まあ、そう言いつつも
まんざらでもなさそうでした（笑）

この会話で、「ああ、今日はいけるな」と実感しました。

ポイントは、「後で（胸を）チェックするよ？」と
相手にエロな行動をイメージさせる会話をしたことです。

仲が深まっていない時にこんなことを言ったら
それこそただのヘンタイですが、割と仲も深まって
酒も入っていたので、勢いでこういった会話ができました。

こういう会話を冗談っぽくして、
相手にエロなイメージを描かせることができる。

「 Hentai! 」と言いつつも、反応はまんざらでも
なかったんで今日はいけるかな? と思ったのです。

そして、帰り際には手を繋いで、
何気にホテル街をウロウロしてました。

で、サキちゃんが「寒い…」とか言うので、
「あ、ここだったらあったかいよ (笑)」みたいな感じで
冗談っぽく言ってみました。

「もう、芹沢くんなんかオヤジっぽいよ (笑)」と言われつつ、
「ほらっ、入るよ! 誰かに見られたらヤバイよ (笑)」と半ば
強引に連れ込んじゃいました。

結構、「誰かに見られたらヤバイよ! 」というのは
ホテルに連れ込む時に使える言葉かも知れません。
ていうか、僕はよくこの言葉を使ってる気がします。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

相手に緊急性というか（そんな大げさなものじゃないですけど）
そんな状態にさせて即決させてしまう。まあ、小技ですけどね。

相手も「えーっ！ちょっとちょっと！」と口では拒否してますが、
しっかり足はついて来ていたのでオツケーじゃんと思いつつ部屋に
向かいました。

まあ、後はご想像にお任せしますが（笑）

そして、その後。

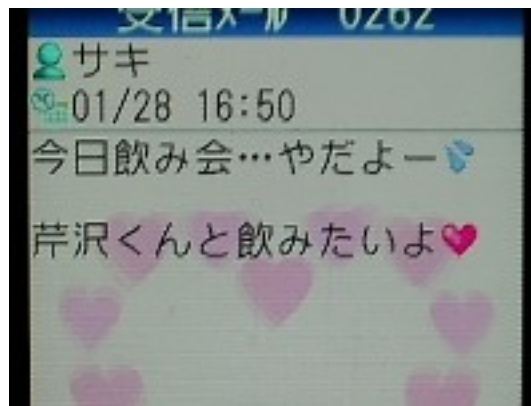
今、僕らはラブラブです（笑）

こんなメールが来たり…

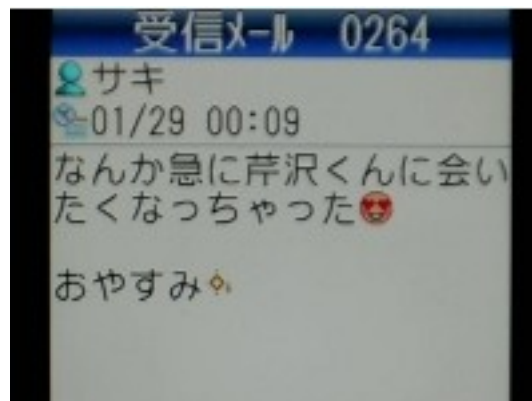
（次のページ）

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる



こんなメールが来るようになりました。



完全にサキちゃんは、
僕のことを好きになってしまったようです。

しかも、僕はサキちゃんに対しては、
一度も「付き合っ」みたいな告白もしてないし、
ましてや「好き」という言葉も一切発していません。

それでも、サキちゃんは僕のことを好きになってくれた。

それは、僕がサキちゃんの心を
いろんな方法で動かしていったからです。

まずは、サキちゃんをからかうことで、
彼女と打ち解けることができた。

そして、サキちゃんのグチを精一杯聞いて、
また僕も仕事上でつらいことをサキちゃんにぶっちゃけて、
お互いの仲を深めていきました。

ところどころメールを放置したりして、
そこで上手く彼女の心を動かし、鍋の時には
サキちゃん自身がびっくりするぐらい酔っ払うまでに
僕に対する警戒心を解くことができた。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

そして、サキちゃんは今、
完全に僕のことを好きになってしまいました。

正直、もう少し時間かかるかなと思いましたが、
短時間でサクサクいけたのでよかったかなと思います。

とりあえず、サキ編はこれで終了です。

もうひとつのアイ編も今じっくり取り掛かっているところなので、
それも楽しみにしてくださいね。

また新たな企画があれば報告します^^

終わりに

いかがでしたでしょうか？

これを公開したときには、「こんなテキトーでいいんですか？（笑）」という声を多く頂いたのを覚えています。

ご覧のとおり、かなりテキトーに接しています。

でも、だからこそこの女性を落とすことができたんですね。

流的には、友達っぽい関係からデートに誘い、そしてキスして恋人同士の関係まで持っていくことができている。

この流れなんです。

はじめから好意全開で女性に接すると、99%の女性はあなたから逃げていってしまいます。

この他にも、この女性との接し方をリアルタイムに実況したことで、得られることはたくさんありますが、どうぞ今後のヒントに活用してください。

Real Time Series 01

初対面から幼顔の女の子を落としてみる

もし、僕のメルマガを読んだことがなければ、ライブラリの下から登録できますのでそちらの方もよろしくお願いします。

レポートでは言えないことをボンボン暴露してるので（笑）

では、ここまでお読み頂きありがとうございました！

芹沢 悠